

単元名 こんにちは リコーダー

配当時間 2時間

単元の目標 (1) リコーダーの音色と演奏の仕方の関わりに気付くとともに、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技術や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けることができる。

(2) リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するのかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見い出して聴いたりすることができる

(3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070105_001

【教材名】リコーダーは歌う（鑑賞） シンシでおはなシ（歌唱 器楽） にじ色の風船（器楽） ゆかいなまきば（歌唱 器楽） シラソでリレー（音楽づくり） (P.16～P.23)

【準備等】範唱CD、鑑賞CD、リコーダー（ソプラニーノ・ソプラノ・アルト・テノール・バス）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「リコーダーは歌う」を聴いてリコーダーに関心をもつとともに、基本的な奏法を知る。</p> <p>○リコーダーにはいろいろな種類があることを知り、様々な音色で演奏できることを知る。</p> <p>★どんな 音 が するかな</p> <p>○リコーダーの扱い方や奏法を知る。穴の塞ぎ方、息の出し方、タンギングについて理解する。</p> <p>○「シ」の音であいさつをし合って、息の出し方やタンギングに慣れる。</p> <p>○「シンシでおはなシ」にあいさつのリズムを組み込んで演奏する。</p> <p>2 シ、ラ、ソの指遣いを習得し、演奏したり即興的に表現したりする。</p> <p>○シ、ラの音や「にじ色の風船」を教師が模奏するのを聴き、指遣いを確認する。</p> <p>★シラソの音で 遊ぼう</p>	<p>・リコーダーの美しい演奏を聴かせ、リコーダーとの出会いを大切に、学習の意欲付けをする。</p> <p>・4種類のリコーダー（ソプラニーノ・アルト・テナー・バス）はできれば実物を用意し、音を聴かせるとよい。</p> <p>・演奏方法による雰囲気の違いを感じ取らせる</p> <p>・演奏に使われているリコーダーの種類の組み合わせとその響きの違いを聴き比べさせるとよい。</p> <p>【共通事項】音色 旋律</p> <p>【評】リコーダーの音色、各曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら聴く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・P16の写真を基に、ウィンドウ（まど）、吹き口、頭部管、中部管、足部管、裏穴について確認し、大切に扱うことを約束させる。</p> <p>・導入時に頭部管だけでいろいろな音を出して楽しむと「音をつくる」意識が芽生える。</p> <p>・「トゥー」のタンギングは強い音になってしまいがちのため、「ルー」のタンギングを使うとよい。</p> <p>・「まなびリンク」の動画を活用するとよい。</p> <p>【新出】タンギング</p> <p>・タンギングで区切りながら「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「またあした」などのリズムを付けて演奏させる。</p> <p>・教師と児童、友達と交互に演奏するなど、いろいろなパターンであいさつをして「シ」の音に慣れさせる。</p> <p>【新出】リコーダー「シ」の運指</p> <p>【評】リコーダーで音を出したり音で関わり合ったりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・交互に歌ったり一緒に歌ったりして、曲の感じをつかませる。</p> <p>・様々なパターンで2グループに分けて行う。慣れてきたら「おはよう」「かくれんぼ」の部分を変えあいさつや遊びに変えて行う。</p> <p>【評】リコーダーの音色と演奏の仕方とを関わらせて演奏する活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・「ラ」の音をロングトーンで十分に練習してから「シ」の音を加えて練習する。</p> <p>・P21にあるように、「シ→ラ」「ラ→シ」から始め、徐々に「シ→ラ→シ」「シ→ラ→ラ」「シシララシ」というように音を増やしていき、「にじ色の風船」に出てくるフレーズ</p>

○「にじ色の風船」を伴奏に合わせて演奏する。

○「ゆかいなまきば」を歌い、シ、ラ、ソの部分のみ取り出してリコーダーで演奏する。

○＜シラソでリレー＞シラソの3音を、いろいろな音の順番で四分音符のリズムで吹いてつなげる。

につなげていくとよい。

【新出】リコーダー「ラ」の運指

- ・タンギングの確認をさせる。
- ・階名で歌いながら、リコーダーの運指を確かめさせる。
- ・毎時間のリコーダーを行う時に導入曲として扱ってもよい。

【評】リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら演奏する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・「イーアイ イーアイ オー」の部分を、全員がリコーダー演奏するパターン以外に、歌う人とリコーダー演奏にする人に分けたり、聴く人と演奏する人に分けたりしながら、互いの演奏を聴き合うとよい。

【新出】リコーダー「ソ」の運指

- ・4分音符をしっかりと感じて演奏させる。教師役を、代表の児童に交代してやってみる

- ・キーボードなどのリズムパターンやメトロノームを使って、拍の流れを意識させる。
- ・授業の始まりや終わりにリコーダーを吹く時間を継続的に設定し、定着していくようにする。

【共通事項】拍

【評】音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏したり、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】